



西小だより

11月号

令和5年10月31日

◆七五三はなぜ11月？◆

朝夕の気温が肌寒く感じるようになりました。つい先日までは、いつまでも暑さが続く
と困っていましたが、一気に秋の深まりを感じるようになりました。保護者、地域の皆様
におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
います。

さて、子どもの成長を感謝する日として全国的に行われている七五三ですが、男の子は
5歳、女の子は3歳と7歳に、元々は数え年で行なうのが正式とされていましたが、現在
では満年齢で行なうことが多くなっているようです。

現在は11月の土日に行くと神社に行く人が多いのですが、なぜ11月15日なのかといえ
ばこれには諸説あるそうです。

江戸三代将軍徳川家光の「袴着の儀」を行なった日という説もあれば、五代将軍綱吉の
「袴着の儀」の日にとする説もあるようです。どちらにしても徳川家の「袴着の儀」の
日が由来になっているという説が有力です。ではなぜ「袴着の儀」が11月15日なのか
さかのぼっていけば、一説には旧暦の11月は収穫の月で縁起が良いのと、「収穫と子
どもの成長を感謝する」日と考えられたことあったようです。また、3歳・5歳・7歳を節
目とした理由は、暦が中国から伝わった際に奇数は陽、つまり縁起がいいとされたため、
「3歳で言葉を理解し、5歳で知恵がつき、7歳で乳歯が生え替わる」という成長の節目
の歳のためともいわれています。なかでも7歳は「神のうち(神の子)」から人間として現
世に完全に誕生する大きな祝いの歳とされていたため、七五三のなかでも7歳の儀式を重
視する地方が多かったようです。

歴史の古い行事なので諸説あるばかりで、はっきりしたことはわかりませんが、昔の人
が「子どもの成長を感謝する」最良の日を選んだということなのではないでしょうか。

子どもが無事に育つことは大きな喜びであり、親として健やかな成長を願わずにはいら
れないものです。子どもの成長を祈ることと、驚くことと、喜ぶこと、感謝することを、
これからも、学校は共有していきたいと思えます。

今年も残すところ2ヶ月となり、暦の上で冬を告げる立冬まであと一週間余りです。空
気がいよいよ冷たくなって、その年始めて冬を感じる時です。もう少し「〇〇の秋」を楽
しみつつ、冬への準備も進めてほしいと思えます。